

|        |   |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人材を育てる学校。 |
|--------|---|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。</li> <li>マナーと規律を守り、思いやりの心を持った生徒を育成する。</li> <li>進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。</li> <li>地域・保護者と連携をし、地域・保護者に信頼される学校を作る。</li> </ol> |
|------|---|

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

|     |   |       |        |
|-----|---|-------|--------|
| 達成度 | A | ほぼ達成  | (8割以上) |
|     | B | 概ね達成  | (6割以上) |
|     | C | 変化の兆し | (4割以上) |
|     | D | 不十分   | (4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |    |
|-----|----------|----|
| 出席者 | 学校関係者    | 5名 |
|     | 生徒       | 3名 |
|     | 事務局(教職員) | 6名 |

| 学校自己評価 |  |  |   |  | 学校関係者評価   |     |  |
|--------|--|--|---|--|---|-----|--|
| 年度目標   |  |  |   |  | 令和4年度評価(2月7日現在)   |     |  |
| 番号     | 現状と課題  | 評価項目   | 具体的方策   | 方策の評価指標  | 評価項目の達成状況   | 達成度 | 次年度への課題と改善策  |
| 1      | 現状<br>生徒の多くが授業に積極的に取り組んでおり授業内容を概ね理解している。保護者においては、資格取得を中心とした学力向上の本校への期待は高い。<br>課題<br>・新型コロナに対応した学習保障(授業展開)対策の検討。<br>・ICTを活用した授業の工夫。<br>・新教育課程の段階的実施及び検証。                                  | <ol style="list-style-type: none"> <li>わかる授業の実現</li> <li>検定合格者数の増加</li> <li>新型コロナに対応した学習保障</li> </ol>                              | <ol style="list-style-type: none"> <li>「学ぶ力」を定着させる授業を展開し、ICTを活用した授業の工夫をして、「授業力」の向上を図る。</li> <li>資格取得の奨励などにより学習の動機付けを行い、より高度な資格取得を目指す。</li> <li>リモート授業や動画配信の実施</li> </ol>                        | <ol style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業の理解度や授業への取組み(生徒アンケート)とICT授業の展開率</li> <li>各種検定の取得状況(普通教科も含む)</li> <li>リモート授業や動画配信の取組状況</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>約90%の生徒が「授業の内容を理解できている」または、教員の説明について約88%が「わかる」と回答している。</li> <li>全商3種目以上1級合格者が179名、基本情報技術者試験の合格者が16名など、合格者数の増加が見られた。</li> <li>Google ClassroomやMeetを活用したオンラインでの課題提示や授業を行うことができた。</li> </ol>                       | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の思考力、判断力、表現力を育てるアクティブラーニングなどを授業に取り入れる工夫をしているかとの質問に「当てはまる」の回答が減少、「当てはまらない」の回答が増加している。生徒が積極的に参加する授業への改善が必要である。</li> <li>感染症や災害などで登校できない生徒に対してのリモート授業の規定等について検討する必要がある。</li> </ul> |
| 2      | 現状<br>自転車のマナーが悪く、地域から多くの苦情が寄せられた。登校時の自転車事故も多い状況である。原付自転車による通学及び在学中の自動車運転が認められる。スマートフォンの利用時間が、4時間以上が3割以上である。<br>課題<br>・交通安全に関する指導及び原付自転車による通学の環境整備。<br>・スマートフォン等の活用及び環境整備の検討。             | <ol style="list-style-type: none"> <li>主体的にモラル・マナーを守る態度を育成</li> <li>交通安全指導体制</li> <li>ICT機器環境の整備</li> </ol>                        | <ol style="list-style-type: none"> <li>自転車等の交通マナーを講演会等や教育活動の全ての場面を通して指導をする。</li> <li>該当する分掌を中心に、交通安全に関する手続きを確立する。</li> <li>該当する分掌と連携してICT機器の環境を整備する。</li> </ol>                                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>交通マナー等の状況把握(生徒アンケート)と地域住民からの苦情の数</li> <li>交通安全指導体制の確立及び環境整備の状況</li> <li>ICT機器の環境整備状況</li> </ol>       | <ol style="list-style-type: none"> <li>全体の約99%が、「交通ルールを守って登校できているか」の質問に対し「守れる」と回答している。</li> <li>保護者の約87%が、「交通マナーや交通事故防止などに力を入れている」と回答している。</li> <li>BYOD回線を充実させ、指導用タブレット端末を活用できる環境を整えた。</li> </ol>  | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>登校中の自転車による交通事故件数の増加が見られた。アンケートの回答と実際に交通ルールが守れているかとは生徒の認識に乖離が見られる。道路交通法も改正されるため、交通安全に対し更に指導を行う必要がある。</li> <li>一人1台端末の活用を推進し、教室でのタブレット端末等の活用事例を学校全体で共有する必要がある。</li> </ul>           |
| 3      | 現状<br>進路情報が保護者へ適切に周知されており、生徒の進路希望の満足度も高く、進路決定率も100%である。<br>課題<br>・キャリアパスポートの作成のための環境整備。<br>・新教育課程に伴う校務支援システムの実施。   | <ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンスを通してキャリア教育の充実</li> <li>手帳の活用方法</li> <li>校務支援システムへの対応</li> </ol>                        | <ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス等において外部講師を招いたキャリア教育を実践する。</li> <li>3年生の活用事例を1・2年生に周知し、手帳の活用を促す。</li> <li>校務支援システムを周知徹底する。</li> </ol>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育に関連する講演会の実施状況</li> <li>生徒アンケートにおける生徒進路手帳の活用状況</li> <li>新教育課程にともなう校務支援システムへの対応状況</li> </ol>      | <ol style="list-style-type: none"> <li>講演会は実施できなかったが、進路指導部を中心にガイダンスや面接指導を行うことができた。</li> <li>1年生の学年集会において外部講師を招き、手帳の活用についてのガイダンスを実施することができた。</li> <li>校務支援システムの変更等、周知を徹底することができた。</li> </ol>   | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路行事に「積極的に参加できた」「参加して興味を持てた」との回答が減少。1年生では、約7%が「まったく関心がない」と回答していることから、1年生から進路に対して目的意識を持たせる必要がある。</li> <li>手帳について、生徒自ら活用方法やフォーマットなどを提案する機会を設ける必要がある。</li> </ul>                     |
| 4      | 現状<br>地域や企業との良好な連携はできている。ホームページや広報誌を通し、中学生やその保護者は本校への関心が高い。また、入試に関しては、入学志願者が定員を上回ることができた。<br>課題<br>・引き続き来年度に入試に向けた、募集定員の確保。<br>・「渋沢栄一翁」の功績を、地域と協力しながら、授業に活かした取組。<br>・PTA、後援会、同窓会と連携した取組。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>学校の魅力を中学生やその保護者への効果的な情報発信。</li> <li>授業を通して地域との連携を図る。</li> <li>PTA活動の充実と効果的な情報発信。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>学校行事の保護者・地域への公開とHPの充実を図り、中学生やその保護者への積極的な情報発信に努める。</li> <li>地域の企業と連携してイベントへの参加や効果的な授業の展開を行う。</li> <li>PTA・後援会・同窓会と連携しながら、保護者が安心できる学校環境づくりに努める。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>情報発信状況及び入試倍率</li> <li>地域の企業との連携について生徒・職員が関わり授業展開の割合が増えたか</li> <li>円滑なPTA活動が行われたか</li> </ol>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>ホームページのトピックス随時更新や360度カメラでの施設紹介など、教育活動等の情報を積極的に発信することができた。</li> <li>3年生が地域の商店とコラボレーションして開発した商品が人気となった。また、地域のボランティアガイドやイベントへの参加など、授業以外でも地域と連携が図れた。</li> <li>PTA活動では、徐々にではあるがPTA行事の実施や学校行事への参加をすることができた。</li> </ol> | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>中学生やその保護者が求めている学校情報を把握し、適時に発信する必要がある。</li> <li>PTA活動では、コロナ禍が続く中、十分な活動ができていないが、生徒の学校生活に必要な支援や行事等を考えて、活動していく必要がある。</li> </ul>   |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業について、プラスの意見の回答が増えていることから、先生方の熱心な指導が感じ取れる。</li> <li>深谷商業高校に「入学して良かった」「させてよかった」という回答が多数あり素晴らしいです。</li> <li>スマートフォンの利用率と家庭学習時間の減少は連動しているようにみえる。</li> <li>アンケート全体を拝見して、学校・先生方の努力とその成果を感じました。</li> <li>学校の良さが十分に分かりました。100年以上の歴史があるので、深谷市内の他の4校にはない何かを望みたい。</li> </ul> |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルールの認識と交通マナーとの乖離の原因は実際の認識が甘いということ。この問題は常態化している感じがするため、有効な教育方法に改めるべきではないか。</li> <li>整備されたタブレット端末の活用状況を示してほしい。</li> </ul>   |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>手帳の活用方法について、3年生の活用事例を1、2年生に周知し、手帳の活用を促すとあるが、先輩方の活用方法を知ることで、自分のための手帳活用方法が見つかるのではないかと思います。</li> <li>進路行事に全く関心がないと回答する1年生に有効な対策を検討して、早急の実施してほしい。</li> <li>進路ガイダンス等で卒業生の進学、就職後の話を聞かせてもらう機会を多くすれば、進路実現にむけての活力になると思う。</li> </ul>  |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞に多くの記事が掲載されてすごいです。</li> <li>深谷市の行事への参加や市民と接して、学校のPRや知名度を上げる取り組みができないか。</li> <li>深谷祭り、七夕、産業祭、妙見市、アウトレット等に何らかの形で参加することはできないか。</li> <li>アンケートの回答数および回答率が低くなっている様子が見受けられる。</li> <li>アンケートの回収率が高まると各項目の比率(達成度)に影響するのではないか。</li> </ul>                                  |